

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	令和5年度第2回川西町子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和6年3月26日(火) 10:00~
開 催 場 所	川西町保健センター 集団指導室
出 席 委 員 (名簿順表記)	成和保育園保護者代表 小林麻美 川西こども園保護者代表 西川恵 川西幼稚園保護者代表 亀田泉 成和保育園長 川端正視 川西こども園長 老田寿賀子 川西幼稚園長 福田奈美 川西小学校長 福辻智実 社会福祉法人飛鳥学院 学童事業部 沼部秀俊 川西町副町長 森田政美 川西町教育総務課長 高場慎太郎 川西町福祉こども課長 中森委香 (計11名)
欠 席 委 員	川西小学校保護者代表 小西有希子 川西町主任児童委員 岡田幸余
川西町こども子育て会議条例第7条に基づく出席者	川西町保健センター所長 野村佳代(代理:主任保健師 身吉まゆみ) 川西町子育て支援センター所長 本井友美子 株式会社ぎょうせい主任研究員 藤山英彦
事 務 局	川西町福祉こども課 岩田映
会 議 次 第	1. 開会 2. 議事 (1) 第3期川西町子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたニーズ調査結果について (2) 第2期川西町子ども・子育て支援事業計画の総括について (3) 成和保育園の利用定員の変更について (4) 委員による意見交換 3. 閉会
会 議 資 料	・次第 ・資料1: 子育て支援に関するニーズ調査(小学生児童用) ・資料2: 子育て支援に関するニーズ調査(就学前児童用) ・資料3: 成和保育園の利用定員の変更について ・資料4: 第2期川西町こども・子育て支援事業計画 進捗評価・現状と課題

【議事要旨】

	<p>1. 開会 (出席者確認) (資料確認) (会長には森田副町長があたり議事を進行)</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 第3期川西町子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたニーズ調査結果について</p> <p>●藤山研究員より資料説明</p>
会長	<p>病児・病後児保育について、利用したいというニーズはあるが、利用につながっていない傾向が見られます。なぜ利用につながらないのでしょうか。</p>
藤山研究員	<p>病児保育は川西こども園で行う体調不良児対応型、田原本町と広域利用協定を結ぶ病後児対応型、それから香芝市と広域利用協定を含む病児対応型の3つがあります。</p> <p>子どもが当日急に熱を出したりすることもあると思いますが、病児保育を利用するなら朝仕事に行く時に預けたい。しかし7時や8時から預かってくれるところはありません。また、病児保育を利用しようとする、まず病院等に行って医師の診断を受けた上で利用先に預ける必要があります。その手間はかけられないし、香芝市まで行ってそれができるかという、できる方はかなり限られると思います。そのため、子どもが病気になった時は仕事を休んで家庭内で保育する傾向が強いのではないかと推測されます。</p>
会長	<p>町は子ども支援に力を入れていこうとしていますが、資料1の最後の設問「川西町は、子どもにとって安心安全なまちだ」の、「安心安全」には定義があるのでしょうか。</p>
藤山研究員	<p>「安心安全」については定義していません。町域が狭いとはいえ、住宅が密集している地域もあれば、密集していない地域もあります。その地域ごとで住んでいる人が感じる「安心安全」なので、例えば、家にいる、あるいは家から出かけるとか、自分の子どもが0～2歳児と、3～5歳児だと感じ方も違います。このように、個々に感じている「安全安心」について、調査結果では4割以上、5割程度と出ていますが、この結果は決して低いことはなく、他の町だともっと低いこともある。そのことから比較的住みよい町ということは間違いないと思われます。その一方で、調査結果から公園、遊び場の問題とか、</p>

	地域との繋がりが薄れてきているという傾向も課題として見られます。
会長	P.74の「地域に支えられている」がかなり減っています。
藤山研究員	基本的には回答者の方の中でということなので、今回の調査ではそういう傾向がもちろん見られます。このあたり割合がかなり変わってきているので傾向として変わってきたのではないかと推察します。社会情勢として核家族化が進んだとか、あるいはコロナ禍による交流の減少の影響かということも踏まえて検討する必要があります。
委員	最近、町外から転入された方がいます。インターネットで調べて、子育てに優しい町だと聞いて川西町に引っ越してきたと話されていました。嬉しいことなので皆さまに報告させていただきます。
会長	ほかに意見がないようなので次に移ります。
	(2) 第2期川西町子ども・子育て支援事業計画の総括について
	●事務局及び藤山研究員より資料説明
会長	なにか質問はありますか。 無いようなので次に移ります。
	(3) 成和保育園の利用定員の変更について
	●事務局より資料説明
会長	3号乳児の公定価格が18万4960円から19万4530円に上がるとのことですが、保護者負担は変わらないということでよいですか。
事務局	そのとおりです。利用定員を減らすことにより児童一人あたりの単価が上がるため、受け入れている園の収入は増えることとなります。
会長	そうすると町の負担は増えるのでしょうか。
事務局	結果として町の負担は増えますが、保護者の負担は変わりありません。

会長	町は待機児童ゼロを目指していますが、利用定員を減少させることで、待機児童が発生するおそれはないですか。
事務局	利用定員を減少したとしても、ペナルティーとなるのは利用定員の120%を超える利用が5年連続で続いた時です。79名の利用定員に対し、120%を超える利用数は95名からであり、昨今の推移から90名を超えることは考えにくいです。また、95名を超えるようであれば、定員見直しのきっかけになると思います。定員の120%まで受け入れることが可能であることから、定員が79名であっても待機児童の発生は考えにくいです。
会長	<p>ほかに質問はありますか。</p> <p>無いようなので次に移ります。</p> <p>.....</p> <p>(4) 委員による意見交換</p>
会長	<p>何かないでしょうか。</p> <p>特に無いようなので、進行を事務局にお戻しします。</p>
事務局	<p>次回については令和6年夏ごろに開催予定です。本日はありがとうございました。</p> <p>3. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>